



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ

2018年7月会報

第357号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Moon Sang-Bong(韓国)
主 題: Yes, we can change 「私達は変えられる」
スローガン 'Courage to challenger'

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之
主 題: 'Action' 「アクション」

西日本区理事(RD) 遠藤 道寛(大阪泉北)
主 題: 「未来に残すべきものを守り育てる」
Let's Protect and Culivate What Should Be Pssed on to the Future.
副 題: 「めぐり逢う一筋の光」
Seek Your Encounter with a Ray of Light

六甲部部长 太田厚三郎 (神戸西)
「六甲部は、一つの体。ともに助け合い、部全体の発展向上をはかろう。」

宝塚クラブ会長 青柳美知子
主 題: 「やさしさと笑いで、幸せクラブを作ろう、その中に新しい仲間を！」

今月のテーマ :キックオフ

ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。はっきり言うておくが、もし、それを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。(マタイ 18章 12-13節)

2018年7月例会

日 時 : 2018年7月11日(水)18:30
場 所 : 宝塚ホテル ゴールドの間
登録費 : 会員3,100円 会員外3,500円、
ドライバー 長尾 亘
開会点鐘 武田寿子直前会長
ワイズソング 全 員
聖書朗読 小林 康男
祈 禱 若林 成幸
ゲスト・ビジター紹介 武田直前会長
役員交代式
晩 餐

総 会

- 1) 新年度活動方針
- 2) 決算報告 3) 予算審議

Y's おこし (ビデオ)

誕生日のお祝い

YMCA ニュース

閉会点鐘 青柳美知子会長

2018/19 役 員	会 長 青柳美知子 副会長 福田宏子 書 記 若林成幸 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡
事 業 委員長	Y M C A サービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 多胡葉子・EMC 杉谷和代 交 流・ファン ド 石田由美子 広 報(ブリテン) (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	N G O 鯖尻佳子 じゃがいも 小林 バザー 長尾 亘 市民クリスマス 若林
お誕生日 おめでとう！	な し
6 月 実 績	例会出席者数 26 名 在籍会員数 23 名 出席会員数 19 名 出 席 率 82.6% メイクアップ(内数) 3 名 メネット 1 名 コメント・孫メット0名、ゲスト・ビジター 6 名 例会充足率 113% B F ポイント 6 月 4,790 円 累 計 42,508 円 にこにこB O X 6 月 2,000 円 累 計 30,750 円 ファン ド (物品販売) 8,000 円 累 計 51,000 円

会長のことば

「いよいよキックオフの 7 月がやってきた。年寄りで、リーダーの資質のない私のような者が会長になり、申し訳ない気持ちで一杯です。

でも 30 年もの長きにわたって、主人と二人で楽しいワイズ生活を過ごさせてもらった。皆さんの優しさにも沢山触れてきた。感謝の気持ちで一杯だ。「よし！この気持ちでやろう！」と思った。メンバー一人一人とワイズダムをこよなく愛して行こう！と思う。皆さん！頼りない会長を宜しくお願いします！」

青柳美知子

6月第1例会報告

6 月 13 日(水)午後 6:30～宝塚ホテルゴールドの間で第一例会が開催された。ドライバーの加藤ワイズの司会、23 人(メン、メネット 17 人、ゲスト 6 人)出席で武田壽子会長の開会点鐘で始まった。ゲストの紹介などの後、和やかな会食でテーブルごとに楽しい会話が飛び交った。

会食が終わった後、ゲストとして招いた 3 人の神戸 Y のリーダーの中から大学 3 年生越生寛子さん

による新しく始まるキャンプ "One Camp" 活動についての説明と協力依頼

がなされた。異なった年齢、環境、人々(障がいのある、ないの区別なく、日本人、外国人の区別のない)と一緒にキャンプをする体験を通してわたくし達は一つの世界の住民だという意識が生まれて



行くという希望を持って新しいキャンプに取り組みたいとの熱い思いが語られた。ぜひ成功させていたいただきたい思いでお聞きした。

そして今期最後の例会となるために一年間の事業報告と評価が各担当者から

の発表があった。各担当者の報告の後、遠隔地所沢ワイズメンズクラブから参加して下さった渋谷弘祐ワイズから挨拶があり、3 人の今月の誕生日のお祝いをして、武田壽子会長の今期最後の閉会点鐘で例会は終わった。

多胡葉子

6月第2例会報告

6 月第2例会は、6 月 20 日(水)18 時 30 分から宝塚市西公民館で行われ、青柳、石田、今田、鯖尻、多胡、谷川、長尾、福田宏、堀江、吉田、若林各メンが出席し、会長に代わって多胡副会長が議長を務めた。

1. 会員異動について

福田 肇メンの退会届が披露され、6 月末付けにて受理を了承した。

2. 次年度の事業委員等の確認

青柳次期会長から提案の人事案に基づき、若干の修正を行った上で決定した。(詳細は総会資料に掲載)

3. 7・8月の例会運営

①7 月新年度キックオフ例会として、役員引継ぎ、会長・各事業計画発表、決算・予算承認を行う。

ワイズ将来構想特別委員会作成の DVD「ワイズ起こし」を視聴する。

②8 月 4 日(土)さんだクラブと合同例会を行う。

18 時～例会、20 時頃～花火の予定。

合同例会として役割分担を調整、講師謝礼(琵琶奏者)は両クラブから支出(各 10000 円)、会費 2000 円(見込)を了承した。宝塚クラブ単独の例会は実施しない。

4. 今後の例会講師の人選を協議し、次の候補者を軸に調整することとした。

沼野尚美氏(ホスピス・チャップレン)、平林克敏氏(登山家)、神保法聖(元薬師寺宮司)

第 21 回東日本区大会参加報告

石田由美子

5. さんだクラブ創立 25 周年記念例会が 6 月 23 日(土)14~17:30、郷の音ホールで開催される。会費 4000 円、参加者 10 名を確認した。
6. 六甲部評議会(第 1 回)が 7 月 7 日(土)13:30~17:30、神戸 YMCA・グリーンヒルズホテルで開催される。会費 4000 円 参加者 9 名の出席を確認した。
7. ラオス・ワークキャンプ支援
前月の懸案事項、谷川メンの補足説明を受け、協力支援を行うことを了承した。
8. 吉田メンから当年度の会計収支(見込)が提示され Q&A を行って了解した。次いで、次期予算のため要討事項を協議し、7 月定期総会にて提案することとした。
9. 7 月ブリテン編集に関し長尾メンの編集方針を了解し、特に西日本区大会参加者には、全員が 300 字程度の感想文(写真付き)を寄稿することとした。提出期日は 6 月 26 日。
10. 6 月例会時、武田会長の総括報告で指摘されたクラブ運営課題「選択と集中」を話し合った。問題意識を共有し、「S&C 委員会」を設けて具体案を協議する。当面、7/25, 8/22, 9/26 に第3例会として行う。
11. 7 月例会(定期総会)で使用する議案書作成のため、次期の会長・各事業委員長・各特別事業委員長は所定の様式(別途配送)により方針・活動計画等を提出のこと。提出期日 7 月 3 日(火)厳守、若林宛。
12. 会長ご苦労さん会を行う。8 月 8 日(水)宝塚ホテルにて、を候補として調整する。

若林成幸

2018 年 6 月 2 日~3 日、沼津で開催された第 21 回東日本区大会に参加しました。

1 週間後の西日本区大会に東日本区から 38 名のメン・メネットの登録があり実行委員長としてお礼とエールを贈りたいと思い参加しました。

JR 沼津駅前の総合コンベンションセンター、プラザベルデに過去最多の約 480 名が集まり盛大な開幕となりました。東日本区の特徴は会員数は少数ですがクラブ数が多いことです。従ってバナーセレモニーは大変賑やかでした。

基調講演は沼津出身の元オリンピック金メダル選手、岩崎恭子さんの「しあわせはいつも自分でつかむ」というテーマでの 50 分でした。大村貴之実行委員長によれば、出演交渉にあたって私達が先に有森裕子さんを決定したのでスムーズに進めたとの事です。



懇親会の後、近くのイタリアンレストランでフェローシップアワーが持たれ、お洒落な雰囲気の中で東日本区のワイズ・メネットとの交流を楽しみました。沼津と言えばお魚、わずかな時間でしたが合間にちょっぴり楽しみました。

第21回西日本区大会参加報告

石田由美子

西日本区大会実行委員長を終えて

最初で最後の経験、西日本区大会実行委員長として今回の大会を迎えました。2年近くの時



間をかけて準備を重ねてきた中で常に強く持っていた思いは2つです。1つは「絶対に大成功する」との楽天主義でした。委員長としてポジティブな姿勢を保つ事によって委員会メンバーが持っているパワーをなお一層発揮出来るように願いました。もう1つは大野勉理事の大会にかける思いを可能な限り実現しようと心掛けました。難しい問題もありましたが実行委員の素晴らしいお働きによりほぼシナリオに沿った大会になったと思います。大変貴重な2年間でした。久しぶりに「仕事をした」という実感があります。参加者からの「よかった」の一言が何よりものご褒美です。

多胡葉子

西日本区大会を終えて

前夜祭も含めて3日に渡り開催された西日本区大会。大会の実行委員長を我がクラブの石田由美子ワイズが引き受け、六甲部全クラブがサポートすることを約束してスタートした。実働の実行委員メンバーとして関わった宝塚クラブのメンバーがフル回転して実行委員長を支えての働きは見事だったと自負したい。それらの働きが六甲部全体へのチームワークにつながって行き各メンバーのタレントが各所に発揮され大会を成功へともたらしたことはワイズならではの働きになった。

当日は広い会場を走り回ってのおもてなしだった

が、参加者の方々の笑顔がとても印象的でメンバー一人一人のワイズダムが感じられ、スタッフ一同疲れも吹っ飛んで望むことができた。

印象的だったのは最後の石田由美子委員長のお礼の言葉。

笑顔で心からの各所への配慮がなされた言葉が次々と出てきた挨拶は一層の感激が伝わり素晴らしい最後の締めだった。



福田宏子

感動した基調講演

「すこやか、しあわせ、ワイズと共に」をモットーに掲げ、好天の6月9日。10日ANAクラウンプラザホテル神戸で800名近いワイズメンが一堂に会し、ゆったりとした雰囲気の中で実り多い大会を無事終えることが出来たのは1年半余りの間、弛まぬ準備、策略、検討すると共に感謝の気持ちで一杯です。

特に基調講演「わたしとスペシャルオリンピックス活動」と題して有森裕子氏の講演の中で。「成功とは綿密な準備とチャンス（好機）をつかむ姿勢、努力が不可決」とのご自身の



体験に基づいて獲得された信念、又岡山弁で具体的に体験を披露されたのはさすが一流アスリートだと納得するひとときであった。

重松えみり

懐かしい友

ユース時代にお世話になった、十勝クラブをはじめとするワイズメンの皆さまに 20 年ぶり！！



に再会でき本当に心躍る 2 日間を過ごさせて頂きました。

年齢や立場や地域を軽々と飛び越え、一堂に会し一緒に笑いあえるワイズメンズクラブってすごいなあと、そしてユース時代に経験させて頂いた全ての事に改めて感謝する 2 日間でもありました。

まだまだ同じ事は出来ませんが、次世代への架け橋となれるよう努めていきたいと思います。

今田和子

今回の西日本区大会に、私はメンとして初めて参加いたしました。今までのメネットでの参加とはちょっと違う気持、活動には責任があると思いました。残念ながら以前と違って体力の低下は言うに及ばず耳も遠く頭の働きも鈍くなっているの

でとにかく『皆様の足を引っ張らないように』のみを考えてきみどりのポロシャツ



を着ました。ところが当日、参加してみると、すべてに鮮やかに準備が整い、私には私にできる仕事があてがわれていました。まわりのメンバーの優しさとともにとても楽しく働き、充実した大会の期間をすごしました。ここまでの行きとどいた計画・準備には実行委員の方々の長期にわたる並々ならぬお心配り・手配りがあったことでしょう。本当に感謝です。

加藤光信

西日本区大会感想文

テーマ「大会実行委員会・8 クラブの皆様へ感謝」
石田由美子大会実行委員長をはじめ委員の努力、8 クラブの努力が実を結び多数参加で盛大に開催されました。皆さん大変ご苦労様でした。感謝申し上げます。

神戸港が一望できる会場はゆったりと雰囲気がい。充実したプログラムが組まれ、毎年県代表の常連校、県立長田高校音楽部の混声合唱は深みと元気溢れる歌声に感動しました。

有森裕子講師の「私とスペシャルオリンピックス活動」は、子供の頃のエピソードを踏



まえに信条の「二度とやってこない一瞬一瞬を精一杯生きること」・今までの体験を通しての事例等、心に残る貴重な講話でした。

懇親会は、会員としての喜びを共に分かち合うつながりが深まる楽しい会となりました

若林成幸

神戸流のおもてなしを表現

第21回西日本区大会が概ね成功のうちに終わることができ嬉しく思います。



六甲部が一丸となって 800 人のお客様をお迎える、というスローガンのもと、宝塚クラブから選ばれた委

員の皆さんは、率先して難しい仕事をやる、という意気込みに燃え、実行委員長・プログラム・会計の重責を担い、また、持ち味を生かして各専門委員会に属しました。私はプログラム委員の一人として、ホスト役を担う六甲部の皆さんが、それぞれに役割意識を持ち協力し合う姿を表現することができるように、「運営マニュアル」を作ることに情熱を注ぎました。これまでも幾つかの大会に参加し、当日運営の難しさを垣間見てきたからでした。「誰が、誰と、何時、どこで、何をする」が分かってこそ人は満足できる働きが出来ると考えていました。事前に行っ

たりハーサルを経て、大会当日の皆さんの動きには統一感があり、リズムカルであり、協力的であったと感じました。



美しい情景に溢れ、これぞ神戸流のおもてなしと感じました。

堀江裕一

ゴルフコンペに参加

区大会前日に行なわれた恒例のゴルフコンペに参加しました。六甲部からは多くの方々が大会開催準備そのものに携わっておられ、コンペには担当された芦屋クラブの 5 名を中心に 9 名の参加でしたが、遠方からの方を含め予定を超える 10 組のエントリーがあり盛況でした。コースは阪神地区の名門芦屋カントリークラブ、よく整備され、キャディさんの対応もよく、午前中は小雨がありましたが、午後は雨も上がり快適な一日でした。優勝は京都ZEROクラブの竹園憲二京都部長でした。宝塚クラブからただ一人参加した私は栄えある参加賞ワインボトル一本をゲットしました。

IBC/DBC コーナー

武田寿子直前会長

鹿児島クラブとのブラザークラブ締結について



六甲部が総力を挙げて準備した西日本区大会は音楽と思いやりに

あふれた楽しい大会だと参加者のコメントをいただき無事終了しました。石田実行委員長を支える宝塚クラブとしてはほっとしています。



懸案であった鹿児島クラブとのブラザークラブ締結が大野理事立ち合いでおこなわれました。両クラブともYMCAを支える活動をしており、ともによい刺激をあたえるために、遠距離で高齢化ですが、西日本区大会や、部会でお互いの交流を深めることを約束しました。フェローシップアワーで、6月で解消される岩国クラブも参加され、楽しい交流の機会を持つことができ笑顔がはじけました。



第21回西日本区大会

エクスカーション

鯖尻佳子

西日本区大会終了後、ワイズメン7人、宝塚クラブ

メンバー3人でエクスカーションに出かけました。まずタクシーで南京町中華街に向かいランチに飲茶セ



ットを頂きお腹いっぱいになった後歩いて神戸港に向かいました。そこでループバスから手を振るワイズメン！どなたかしら？と思っていたらバスから下車、名古屋クラブの相馬静香ワイズでした。一人増えて一緒に神戸ベイクルーズに乗船。雨も止んで甲板まで出て港めぐりを楽しみました。ホテルまではループバスに乗り、九州から来られた母娘さんは北野工房で下車されてお父様に帽子をお土産に買われたそうです。当日、エクスカーションに申し込まれた方、また途中で合流された方と楽しい交流が出来たことを嬉しく思っています。またお会い出来る日を楽しみにしています。

【今月のみ言葉】

主イエスは、個々の人間をそれぞれに価値ある存在と見なし、私たち一人一人が無条件にかけがえのない存在であると考えていました。今回取り上げた「迷い出た羊の譬え」は、そのことを端的に示しています。

百匹の羊を飼っている羊飼いがいました。あるとき、その百匹のうちの一匹が迷い出ていなくなったようです。するとその羊飼いは、まだ九十九匹がいるから一匹ぐらいいなくなっても構わないと考えるのではなく、九十九匹の羊をとりあえずその場に残しておいて、その迷い出た一匹を捜しに行くに違いないというのです。

もちろん、そのときその羊飼いににとって残りの九十九匹はどうでも良かったというわけではありません。ただ、その時の羊飼いににとっては、無事である九十九匹のことよりも、いなくなった一匹のことが心配で仕方なかったわけです。そしてまた、その迷い出た一匹だけが羊飼いににとって特別に価値ある羊だったわけでもなく、その一匹も他の九十九匹と同様、「(ただの)一匹」にすぎなかったのです。つまり、その羊飼いににとっては、一匹一匹の羊がそれぞれに価値ある存在だったのです。

この譬えはまさに、神は私たち一人一人を価値ある存在と見なし、私たちが道を踏み外して迷い出たら捜し求め、そして見出したら心から喜んでくださる存在であることを示しています。それぞれがかけがえのない存在として神に愛されていることを改めて覚え、常に感謝の思いを持ちつつ歩んでいければと思います。

嶺重 淑

YMCA だより



夏の足音が聞こえてきました。保育園ではプールを組み立て、子どもたちが大好きな水遊びの準備を行っています。近頃は多くの子どもがスイミングに通っています。目指すレベルによって通っている施設も様々です。私は体育指導についてどちらかといえば専門外ではありますが、勤めだしたころYMCAらしさを感じる出来事がありました。なぜか水泳リーダー講習会に参加して(させられて)いたときの記憶でいまでも鮮明に「よそのスイミングスクールは泳力をつけることに主眼を置いてバタ足から練習しているが、YMCAは蹴上がりなど、まず水の中でも命を守る術から練習しているのだ」と、当時の先輩が熱く語っている様子を思い出します。

今でも、全国のYMCAでは水上安全啓発のためのパンフレットを作成し、YMCA会員だけでなく地域の学校などにも配布する活動を行っています。まずは自らの命を守れる力を、そして人の命を大切に育てる場としてYMCAは、夏も活動を行っていきます。

1. 国際協力募金感謝

宝塚ワイズの年度決算にあたり、今年も国際協力募金として、101,071円をささげいただきました。感謝いたします。神戸YMCA国際協力募金は、アジアを中心としたYMCAの地域奉仕活動や日本のYMCAと現地のYMCAが協力して行う活動、他の民間団体を通じて人々のために用いられます。また災害復興支援や今年度はチェンマイYMCAと協力してラオス地域の青少年育成のためのワークキャンプを行っていきます。また例会の際にも報

告の機会を設けていきます。今後ともご支援よろしくお願いします。

2. 憲法を知る集い(7/21)のご案内

神戸YMCAでは、2013年度より学びの機会を継続実施してきました。今回第7回となる集いはゲストに、弁護士の白承豪先生と津久井進先生をお招きします。白先生は、2017年に外国籍の弁護士として初めて、兵庫県弁護士会の会長を務められました。その経験を基に、人権や法律を切り口に語っていただく予定です。津久井先生は、災害に対応する弁護士としてもご高名ですが、一方で憲法論議にも豊富な知識や経験があります。緊急事態条項などを含め、分かりやすく法律と憲法についてお話をいただく予定です。

タイトル:【 憲法を知る集い vol.7 憲法・法律・人権から考える私たちの民主主義 】

日時: 2018年7月21日(土)13:00~15:00(12:40受付開始)

会場: 神戸YMCA 三宮会館チャペル(神戸市中央区加納町2-7-11)

参加費: 無料

問い合わせ先: (公財)神戸YMCA国際・奉仕センター

TEL: 078-241-7204

申し込み不要でどなたでもご参加いただけます。